

## コロナ感染遷延と看護学校

コロナ禍の下で小中学校と同様に御殿場看護学校の授業も大きな影響を受けています。2月の国家試験こそ一人の感染者もなく受験できましたが、日々の学校生活では、生徒自身の感染や濃厚接触のケースが幾度となく報告され、そのたびに教職員が対応に追われています。そんな危機的状況下3月4日に市民会館で卒業式が行われました。来賓や家族のいない式の中でしたが、代表のママさん卒業生の家族愛あふれる答辞に思わずもらい泣きしそうになり、今後の彼らの活躍に心からエールを送りました。

ニュースでコロナ感染が遷延化しており感染予防のためには3回目のワクチン接種を早期に進めることが大事であると毎日のように報道しています。

御殿場市の3回目の接種率は3月初旬において県内各市町と比べ高いとは言えず、行政としては数字を上げるために必死です。去年参議院選挙の補欠選挙の時に川勝知事に御殿場市の接種率が低いと名指しされたこともあり、行政の早まる気持ちは十分理解できることから、医師会としても各医療機関に今まで以上に接種促進の協力を仰ぎ、集団接種の枠を増やしたりして対応しています。

先日も述べましたが5歳から11歳の小児への集団接種（個別接種については田内医院が対応）が御殿場市では3月13日（日曜日）から始まります。静岡市などでは主に個別の医療機関で接種するとの報告ですが、これは小児科の医療機関が多く存在する都市で可能な方法であり、御殿場市としては主に集団接種を選択することになりました。各医療機関の先生方には重ね重ね集団接種の役割をお願い致します。